

広報誌

キッズ ふくしま インタガダ

第11号

2019年10月1日

(発行)

キッズふくしまインタガダ実行委員会
(事務局)

〒943-0892

新潟県上越市寺町2-24-4

真宗大谷派高田教務所内

TEL:025-524-3913/FAX:025-524-2645

URL:<http://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>



サマーキャンプ2019を行いました



このテーマは、高田教区の親鸞聖人七五〇回忌法要と共に終わった言葉ではなく、私に始まったテーマなんだという事を最近を感じる。この八年のキッズの歩みをかえりみて思う事は過去の参加者、今の参加者、そして未来の参加者の子ども達は生きる場をどう選ん

実行委員長

高田教区第四組 養性寺

うちやま まさあき

内山 真明

「私はどこで生きているのか、たずねよう真宗の教えに」。そんなの、今、ここ、しか無いに決まっているじゃないと、昨年春の高田教区親鸞聖人七五〇回御遠忌が勤まる前までは思っていた。

でいくのだろうかという事。

キッズふくしまOBで、関東の大学に進学した子のある親は、キッズスタッフにこう話したと聞いている。「あの子にはね。もうここに帰ってこなくてもいいよと伝えたいです。」この言葉を伝えなくてはならない親の気持ちはどうな気持ちだろうか？また、その言葉を聞き伝えられた子どもはどう考えただろうか？

震災と共に起こった原発事故、そこに生きる人達、生きることを選んだ人たちと関わる者として、今後も私達は見守り、関わり続ける必要があるように感じる。





夕食の様子

キッズふくしまインたかだ サマーキャンプ2019

2019年7月29日～8月4日

池の平日程

7月29日～8月1日

1日目 (7月29日)

池の平センター到着 自己紹介
オリエンテーションなど



基本的な生活についての説明や
レクリエーションを行いました



今年も総勢四十一名の元気な子供
たちが新潟に来てくれました。長雨の
梅雨が終わった途端の猛暑で、避暑地
の池の平でさえ連日30℃を超える
日が続いていました。そんな暑い中で
したが、日中は外で思いきり体を動か
し、夜は温泉に入ってしっかりと汗を
流してゆつくり休んでもらいました。
三泊四日、とても充実した時間を過ご
せてもらったのではないのでしょうか。

ネットで公開しています

これまでの「キッズふくしまインたかだ」
の取り組み、今後の予定などを、たくさんの
写真と共に随時アップしています。ぜひア
クセスしてみてください。

なお、この広報誌はホームページに
PDFデータでカラーアップ
されていますので、印刷してご利用くださ

ホームページ

<https://kids-fukushima-in-takada.jimdo.com/>

Facebook

<https://www.facebook.com/kidsfukushima/>

Twitter

<https://www.twitter.com/kidsfukushima/>

会計報告

この活動に対し様々な方に御支援を頂きまし
た事を、ここにご報告させていただきます。

- ・ すずなの会様
 - ・ 全日本仏教会様
 - ・ げんこつ亭様
 - ・ 教区内御寺院様方
- ※順不同

通帳残高 1,376,916円

この募金はキッズふくしま実行委員会が管理
をして、必要があれば実行委員会の決済を経
て、キッズふくしま関連事業への補助を行
います。今後も高田、新井両別院報恩講や各種行
事において募金活動を行う予定です。引き続
きご理解、ご協力の程宜しくお願い申し上げ
ます。



じゃんけんで
スタート順を決めて出発



2日目 (7月30日)

オリエンテーリング

二日目は池の平地区内のチェックポイントを通過しながら班別に散策する、オリエンテーリングを行いました。午前中に出発をし、一旦センターで昼食を食べてから午後の部に出発。暑い中でのオリエンテーリングとなりましたが、一人の脱落者も出さずに協力してゴールすることができました。



いろんなチェックポイントを回りました



さすがに疲れて爆睡！



夕方センターに戻ってからは、ミニイベント「ドクターAからの挑戦状」スタッフに関する問題をみんなで解きました



夜はBBQの予定でしたが、天候不順により室内での喫食になりました

3日目 (7月31日)

遊ブース、花火大会

センター日程二日目はいろいろな遊び道具で楽しむ、「遊ブース」で体を動かしました。室内でのゲームや屋外での水遊び、お昼は流しそうめんでききました。夜は夏の風物詩、花火大会で盛り上がりました。



午前中は室内での遊びが中心



午後は水鉄砲で大騒ぎ



夜は花火大会です



最後に、このキャンプに参加させてくれてありがとうございます。スタッフの皆さん私たちをホームステイに受け入れてくれたお寺の方々、本当にありがとうございました。

最後に、このキャンプに参加させてくれてありがとうございます。スタッフの皆さん私たちをホームステイに受け入れてくれたお寺の方々、本当にありがとうございました。

私は今回で、四回目のキャンプでした。今回のキャンプ、池の平で一番楽しかった事、ホームステイ先で一番楽しかった事を話します。
まず池の平で一番楽しかった事は、「水遊び」です。男子からも女子からもたくさん水鉄砲で当てられながらもいっぱい遊べて楽しかったです。次はホームステイ先で一番楽しかった事は、プールで遊んだことです。他のホームステイの人もこのプールに遊びに来ていました。私のホームステイ先の保倉さんと、私の友達がホームステイしている内山さんの合同でプールで遊びました。鬼ごっこや、流れないプールのウォータースライダーをしてたくさん遊びました。一時間半から二時間位遊びました。とても楽しかったです。



いわき市 小学六年生

佐藤 麗愛さん
さとら れいあ



4日目 (8月1日) 手作りピザ

ピザ作りに挑戦。生地作りからトッピング、焼き上げまで
班別に協力して行いました。とっても美味しかったよ！



スタッフの声

スタッフ 近藤 真 こんどう まこと

私は今回、キッズ福島八年目にして初めて参加しました。全てが初めての経験で、わからないことも多くありましたが、スタッフの方を始め子ども達にも支えられ充実した一週間を過ごすことができました。

全日程を振り返って、とにかく子ども達の底無しのエネルギーに圧倒されたことが印象的でした。その中でも常に子供たちに目を配り体を動かす活動と頭を使って静かに過ごす活動を上手に織り交ぜながら、キャンプを進めていくスタッフの姿からは、多くのことを学ばせてもらいました。子供たちにとっては、一週間自然豊かな土地で遊べるこのキャンプの貴重さが、今はまだ分らないかもしれませんが、十年二十年経って大人になった時「あの時良い経験をしたな」と思ってもらえれば微力ながら今回スタッフとして参加した身としては、最高の喜びです。

震災からまもなく九年が経ちますが、今も汚染水や余震の影響が続きます。震災当時の事は徐々に忘れられてしましますが、そうした中でもこの保養事業の意義が認められ、また多くの人に認知されることで今後も末永くキャンプが続いていくことを願っています。

キッズふくしまにお力添えいただきありがとうございます

「キッズふくしま」とは福島第一原発事故を機に始まった、福島県の子どものための保養活動です。現地の声には、「個人宅の放射能除染が行き渡っていない」、「遊び場である公園に連れて行ったり、遊ばせたりする事が不安」などという声が聞かれます。また子どもたちからも「普段遊んでいた空き地は数値高いから遊べない」、「山に入っちゃいけないって言われた」等、大人は不安からのストレスに、子どもたちは遊び場を失うストレスに悩まされる日々が今だに続いています。

「キッズふくしま」は、大人たちが便利という言葉にごまかされて思考を止め、本当の安全を追及して来なかった事や、原発事故、放射能汚染等の負のバトンを子どもたちに渡さなければならぬ事に対する「ごめんなさいから始める」活動です。子供たちが感じているストレスの軽減と、受けている内部被ばくの減少を目的として、たとえ一週間という短い期間でも汚染されていない地域で過ごし、思い切り遊んでもらいたいと思っています。ご理解の程宜しくお願い致します。

皆様からのご寄附をお願いします

- 郵便局からの振込 -

口座記号番号 (ゆうちょ銀行)
00500-1-101787
口座名 キッズふくしま たかだ

- 他金融機関からの振込 -

店番 059 (ゆうちょ銀行)
口座名 キッズふくしま たかだ
預金種目 当座
口座番号 0101787

ホームステイ

8月1日～4日

後半は各寺院でのホームステイです。今回は十一ヶ寺での受け入れ協力をいただき、三泊四日のお寺の生活を体験してもらいました。それぞれのステイ先で志向を凝らし、色々なイベントや訪問等を行いました。その一部を写真で紹介します。



ステイ先① 西光寺



ステイ先② 安證寺



ステイ先③ 稱名寺&覺願寺



ステイ先④

福浄寺



ステイ先⑤

新井別院& 専敬寺



子ども
たちの声

福島市 小学六年生

さとう ほのか
佐藤 帆華さん

私が、センターで活動した中ですごく楽しかった事は、オリエンテーリングと水遊びです。オリエンテーリングでは、たくさんの方々と自然と触れ合いながら友達と仲良く活動できたからです。水遊びの日はいい天気で、いろいろな水鉄砲やカラフルな水風船で友達やスタッフに当たったりしてきもちよかったです。センターで学んだ事は、友達と協力したり、知らない子と仲良くして友達になったりすることです。友達と協力したり仲良くなれば、楽しく過ごせると思ったからです。

ホームステイで一番思い出になった事は、プールに行ったりご飯を食べに行ったことです。流れるプールで泳いだりバレーボールをしたりしました。そして二人組になってスライダーを滑ったりしました。思ったよりも早く、とても楽しかったです。プールの後、海鮮丼を食べました。たくさん刺身がのっけていて、とてもおいしかったです。夜は、ワールドビュッフェに行ってお飯を食べました。初めてだったので少しドキドキしました。いろいろな料理がたくさん並んでいたりとソフトクリームを自分で作ったりできて、とてもびっくりしました。

普段ではできないことができたので、すごくいい経験になりました。冬は行けるかどうかかわからないけど、またキャンプに行きたいです。

保護者の声



Thank You ☆

郡山市

遠藤 裕美様

震災から八年、当時一歳だった旭も十歳になろうとしています。

震災直後は、放射能の心配と不安もあり私の実家がある小千谷市へ避難しました。上のお姉ちゃんお兄ちゃんは学校があるため郡山に帰り、旭だけを実家に預けていた時期もありました。

お兄ちゃんお姉ちゃんはいろいろな保養へ参加させていましたが、旭はまだ小さかったので夏休みや春休みも家でお留守番させるしかありませんでした。やっと小学校に上がって初めてキッズふくしまさんの保養に参加させていただいてから今回で五回目。毎回参加する度にいろいろな体験をして成長して帰ってきます。土産話を楽しく話してくれます。今回の保養でも「ホームステイ先の肉じゃががおいしかった」とか「大きな水鉄砲を買ってもらって友達といっぱい遊んだ」とか話をしてくれました。ありがとうございます。

震災から八年、保養の打ち切り、縮小も増えています。まだまだ子ども達が小さく福島で生きることしかできない私たちには保養はとてもありがたいです。いつも感謝しております。

いわき市 手塚 美沙様

三年生のスプリングキャンプから参加させていただき、今回が最後のキャンプになってしまいました。はじめてのキャンプでは、たくさん雪を見て触れて遊んできて、満足した様子で帰ってきたのを覚えています。次のサマーキャンプでは、海へ連れて行っていただきたみたいで、日本海は綺麗で楽しかったと話していました。震災以降、海に行きたいと思わず、入るといのは未だに抵抗があります。それからは毎回キャンプを楽しみにしていて、今では荷物を自分で準備するようになり、新潟の方で地震があれば「新潟は大丈夫かな？」と心配する言葉が出てくるようになっていて、このキャンプに参加させて出会えて良かったと思いました。

原発事故後、いろいろな情報が発信され、これから福島はどうなるのだろう、子ども達は大丈夫なのかなと心配しました。未だに原発には不安がありますが、キッズふくしまのキャンプに参加させて、子供たちが帰ってきたときの表情を見て、救われた感じがしました。福島の子供たちのことを思い、この活動に賛同して下さった方々にとっても感謝しています。

スタッフ募集!

※ お問い合わせは事務局まで

実行委員会では随時スタッフを募集しています。

～池の平会場において～

- ① 全日程通じての参加
- ② 短時間での参加
- ③ 食事の準備、片付け
- ④ 子どもたちと遊びたい人
- ⑤ 現地への送迎

～ホームステイにおいて～

- ① ホームステイの受け入れ
- ② 食事のみの提供 (そば打ち、餃子、BBQなど)
- ③ 催し物や行事の提供 (お講、子供会、陶芸教室、各種スポーツなど)
- ④ 資金の援助
- ⑤ 移動の送迎サポート



よろしくお願ひします!